



議会だより

かたしな

No. 123 平成22年 2月15日発行



PHOTO

1月10日第62回片品村成人式を迎えた平成生まれ初の成人者

主な内容

12月定例議会で決めたこと	2~4
村政を問う 2名が一般質問	5~6
議員派遣報告	7~9
議会活動日誌・編集後記	10

12月定例会

条例の制定・一部改正

◎村税条例の一部改正
村民税について個人住民税の住宅ローン控除の創設

◎固定資産税について
は法改正にともなう固定資産税の納税義務者に関する処置

◎片品村共同墓地設置
ならびに使用条例

◎一部改正する条例生活
環境課統合による課名
の変更

◎国民健康保険条例の
一部を改正する条例
について

国民健康保険税の減額及び減免の整備と上場株式等に係る配当所得及び譲渡損失ならびに先物取引に係る雑所得等の見直し

◎防災行政無線設置及び管理に関する条例の一部改正

◎片品農業協同組合が
平成22年3月1日より
利根沼田農業協同組合
と合併となり名称変更
のため

◎議案74号片品村過疎
地域促進計画の変更
について

◎難視聴のデジタル化
改修工事の追加変更の
ため

人事

◇人権擁護委員候
補者の推薦

片品村須賀川

大竹 長久さんが

推薦されました。

片品村議会は、12月4日から10日までの会期で第10回定例会を開催しました。条例関係、21年度補正予算などが提案され、いずれも原案どおり議決されました。

平成21年度 12月補正

(単位：千円)

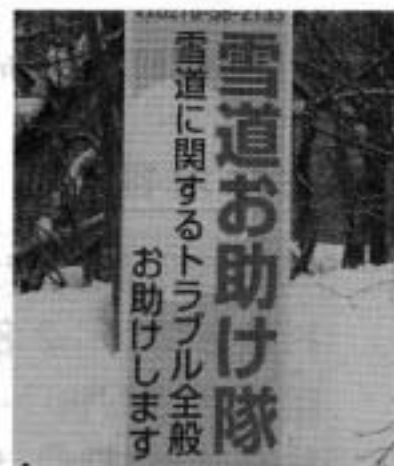
会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計	3,803,548	44,393	3,847,941
国民健康保険	780,860	24,222	805,082
介護保険	351,684	10,649	362,333
観光施設事業	補正前	補正額	補正後
収益的収入	148,775	△21,626	127,149
収益的支出	148,710	△25,069	123,641

主な一般会計補正

- ◆歳入 → 国・県支出金 3,187万円、地方交付税 2,111万円、臨時財政対策債 1,290万円増額
- ◆歳出 → 沼田市までのし尿の運搬費 1,470万円、緊急雇用創出基金（お助け隊） 1,324万円、広域圏特別老人ホーム負担金 1,178万円
- ◎観光施設事業特別会計の減額は尾瀬ロッジを指定管理者にしたためです。



チェーン取り付けのお手伝いをするお助け隊



お助け隊看板

請願陳情審査結果一覧表

12月定例会において審議された請願陳情は、下記のとおり決定しました。

陳情

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
平成21年 10月21日	「ハッ場ダム建設推進に関する要望書」の送付及びハッ場ダム建設推進を求める意見書提出の検討要請について	群馬県町村議会議長会 会長 高橋 正	観光産業	採 択
	国の責任において、地元の意思が十分尊重されるかたちで、ダム事業建設継続によりその早期完成が図られるよう関係機関に要請したいとの結論に至った。			
平成21年 10月27日	電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について(8ページ豆知識参照)	ダム・電源関係市町村 全国協議会 会長 辻 一幸	観光産業	採 択
	今後とも環境への負荷が少ない水力発電を安定的に維持する必要があることから、関係市町村としては、必要不可欠な財源でもある水力交付金の恒久的継続を実現してもらうだけでなく、むしろその拡充を要望すべきだというのが異論のない総意でしたので、関係機関に働きかけたいという意見でした。			
平成21年 11月6日	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情	群馬県保育問題連絡会 会長 古武 徹	総務文教	採 択
	急激な少子化の進行のもとで、次世代育成支援に対する国と自治体の責任はこれまでも増して大きくなっており、なかでも保育・学童保育・子育て支援施策の整備・施策の拡充に対する国民の期待が高まっています。 本村に直接影響は少ないが、全国的には現行の保育・学童保育、子育て支援施策を大幅に拡充することが必要であるため関係機関に働きかけたいという意見でした。			
平成21年 11月10日	後期高齢者医療制度の廃止を政府に求める陳情	全日本年金者組合群馬県 本部 執行委員長 小崎洋一郎ほか1名		議員配布
平成21年 11月10日	生活費に見合う年金引き上げを政府に求める陳情	全日本年金者組合群馬県 本部 執行委員長 小崎洋一郎ほか1名		議員配布
平成21年 11月12日	日本への核兵器持ち込みを認めた「密約」の公表と破棄を求める意見書の採択を求める陳情	群馬県平和委員会 会長 菊池 定則		議員配布
平成21年 11月12日	日米地位協定に関わる「裁判権放棄の密約」の公表と破棄を求める意見書の採択を求める陳情	群馬県平和委員会 会長 菊池 定則		議員配布

※ 上記の採択となった3件の陳情については、関係省庁に意見書の提出をしました。

〔平成21年度補正予算について〕

〔星野侃三議員〕
花咲の農業者トレーニングセンターと武尊体育館の屋根の塗装工事金額を伺いたい。

〔農林建設課長〕
農業者トレーニングセンターが679万円、武尊体育館が481万円です。

〔八ッ場ダム建設推進を求める意見書提出採択による委員長報告〕
〔大竹文夫議員〕
委員長報告に関して、質問をします。慎重な審議で、いろいろ意見が出たというふうに聞いています。ダムの必要性云々の議論は切り離して別に考えていくことと、ダム建設事業継続によりその早期完成が図られるよう関係機関に要請するとの間

こんな質疑がありました

には、ちょっと層があると感じる。歴史的経緯も言われたが、ダム建設の存在是非のことを切り離すことと、しかし結論としてはダム建設事業を推進するということの問題をどのように議論されたのかを聞きたい。

〔観光産業常任委員長〕
言わんとすることは分かれます。意見は多々あります。
本委員会での審査では、八ッ場ダム建設だけでなく、ダム建設の一般的な必要性あるいは必要性に関しては、ここで云々することは、馴染まないのではないかと。
あくまでも八ッ場ダムの地元の生活や福祉向上を考へるべきだとし、地元支援を中心としたの討議が進められた。

つまりダムが必要かどうかそれ自体を議論し始めると難があるの、あくまでも地域のための対応や支援が十分でなくてはならないという思いの報告書であったということです。委員長報告で、このように採択すべきもの

こんな討論がありました

【八ツ場ダム建設推進を求める意見書】提出の検討要請についての委員長報告

反対討論

(大竹文夫議員)

この採決について、反対の立場から意見を申し上げます。

現在の八ツ場ダムをめぐる状況は、治水・利水云々のレベルを超えた論議になっていると思う。

片品村として考えるべき点は、戸倉ダムのときに財政的な理由で

となったが、選択は、それが採択すべきものか不採択すべきものかのいずれしかありません。それを請ったところ、採択すべきものとの結論に達したので、その意を酌んでいただきたい。

意見表明をしたことはないはずだ。

したがって、今回の事態においても、地元的生活再建とダム建設の是非云々を一時的に棚上げして、地元的生活再建を基軸にした下流都県を含めた協力関係というものをどう作っていくかが重要だろう。

ここで、ダム建設推進という意見書を採択するのは、その障害になる。片品村が、このように強いて、この陳情を採択する必要はないと判断し、反対します。

賛成討論

(飯塚美明議員)

委員長報告のとおり、ダムの存在是非のことを考えると議論が進まなくなるので、委員会では、これは切り離して考えました。

八ツ場ダム建設推進に関する要望ということで群馬県の町村会、議長会からあった。

この要望書を読むと、その趣旨は、長野原町、東吾妻町この二町は八ツ場ダムを造ることによって、住宅が埋まるなどで今までの生活が変わってしまう。生活再建をとという計画を出していた。それが中止になることによつて、大変住民が不安を持っている。将来が見えてこないからだ。住民生活が大変困る。それをカバーするために、群馬県の議長会としては、応援してあげたいということであつて、要望書にあることは、議長会・町村議会の人たちに協力してほしいという話であるので、賛成したい。

賛成討論

(高橋正治議員)

この関係は、国と地元で約57年間慎重に反対あるいは賛成について協議したと聞いています。その結果に基づいて長野原町や東吾妻町

については、ダムを建設することによつて、地域の再編計画がきちんと整い、そのもとに今期待している切なる願いを受けて、この群馬県町村議会各町村にお願いをし、こういった意見書の検討をしてほしいという要望だと私は受け止めた。したがって、この長野原あるいは東吾妻町の切なる願いを受けて、この再編計画がスムーズに行われることを願つて、私は賛成する。

(賛成 10)
(反対 2)



八場ダム周辺の橋梁工事

【八ツ場ダム建設推進を求める意見書】提出について

反対討論

(大竹文夫議員)

先ほどの委員会報告採択のところ、趣旨的に述べたことに加え、やはり57年間におよぶ国策の名による地域住民の生活の破壊と、この再編計画がスムーズに行われることを願つて、私は賛成する。

(賛成 10)
(反対 2)

村政を問う

2名が一般質問

星野 育雄 議員



鳥獣害被害防止 対策を問う

問 村は、小規模土地改良事業で鳥獣侵入防止柵の建設を進めているが、有害鳥獣侵入防止柵未設置地区はどこか。

答 平成6年度から鳥獣害防止柵設置事業に取り組んできました。未設置地区は、須賀川、御座入、槽淵、戸倉で

す。初期設置の柵はシカ侵入防止を目的としたもので、イノシシ対策用に改修する必要がある。

問 未設置地区全体に侵入防止柵設置をした場合、総延長距離はどのくらいか。

答 地区からの要望状況や被害の状況、ルート上の選定などにより距離が異なるために、未設置地区の総延長距離の把握は困難な状況になっています。

問 平成22年度予算で、どの地区で、何メートル位実施する予定か。
答 穴沢、花咲を本年度に続けて1,200メートル実施する予定です。



食害を受けたトウモロコシ

問 今後、何年間で村全体の有害鳥獣侵入防止柵を完成することになっているのか。

答 有害鳥獣侵入防止柵設置計画は未策定ですが、今後は、地区からの被害状況や関係機関のご指導をいただきながら新設、又は改修事業を随時実施していく予定です。

問 県単の小規模土地改良事業での鳥獣害防止施設の村の負担率は55%だが、国の鳥獣害防止総合対策事業なら9%ですむ。したがって、小規模土地改良事業から国の鳥獣害防止総合対策事業に切り替えたほうが良いのではないか。

答 国の鳥獣害防止総合対策事業での実施については、県とも協議しながら作業歩掛、諸経費、製品など現事業と比較検討し、導入していきたいと考えています。

問 今後の鳥獣害防止対策として、どのようなことを計画しているのか。

答 防止柵の設置、猟友会巡視員3名による村内巡回、被害未然防止のため片品村有害鳥獣被害防止対策協議会を設立した。今後は、役場職員7名が狩猟免許の取得に向け準備をしており、資格免許の取得後は、緊急の際に出動することになっています。

また、モンキードックを導入し被害防止に努めたいと考えています。

問 武尊根小学校前の雨乞山が禁猟区のため鳥獣の住みかとなっていて、熊の出没で小学生が危険にさらされたり、鹿、カモシカ、猿、猪、狸などが農作物を食い荒らし大きな被害をこうむっている。平成22年度事業で鳥獣侵入防止柵の建設をしてもらえないか。

答（農林建設課長）

山崎と東小川のほかにも、県へ要望の関係で、これに追加が可能であれば協議をしていきたい。



捕獲した猿

萩原 日郎 議員



議会答弁の疑問点と廃棄物への取組は

問 廃プラスチックを捨てていい場所と量の法的根拠は。

答 あの程度の量では、当時、問題なかった。

9月の答弁のとおり、沼田の産廃業者に指示して適性に処理した。

大型ダンブで何台もというが、飛散しないように上を混ぜたりかぶせたりしたためだ。

問 捨てた場所は、農地だったのか。
農地だとすると農地法違反の疑いも。

答 たとえ農地であったとしても窪地を埋め、平らにして使いやすくしているのが、農地法上も、問題ないと思う。

問 自分の責任で適性に処理したのは評価しますが、実際に投棄を続けたのは、何年くらいか。

答 何年間とか記載していたわけではないが、わずか30坪か40坪の中に埋めたわけだから、何年も埋めたわけではない。

問 こうした物質については親会社から、どう処理するか指示あるいは指導されていたのでは。

答 親会社からの指導はありませんでした。

問 今後、村としてどのように廃棄物問題と取り組むか。

答 本村は、不法投棄の防止と抑制をはかり、悪質な違反者に対しては告発を前提として対処する。

廃棄物の減量化（ゴミ減量）に向けた取り組みとして群馬県レジ袋削減推進協議会への加入リサイクル等の推進に取り組む。



投棄物を処理する様子

議員派遣報告

◎群馬県町村議員 研修会

■平成21年10月30日
吉岡町文化センター
で開催

前鳥取県知事で、慶應義塾大学教授片山善博氏による「地方自治の展望と課題」と題しての講演。

日本経済新聞コラムニストの田勢康弘氏による「政治とジャーナリズム」についての講演をしていただきました。



前鳥取県知事の片山善博氏

両氏共に、現在の政治のあり方やそれらをとりにまく、ジャーナリズムの役割等の講演を分かりやすくしていただき、大変有意義な研修でした。

◎利根郡町村議員研修会

■平成21年11月4日
5日

川場村中野ビレッジ
他で開催

「地球温暖化対策の現状と課題について」と題し、県の環境政策課温暖化対策室長の根岸達也氏が、また、2日目に

については、沼田市の医療法人久仁会いきいきクリニック院長長田中志子氏による「認知症の実態について」と題し講演をしていただき

ました。日本や世界を取りまく現状の社会分析など有意義な研修内容でした。

研修内容でした。



いきいきクリニック
院長長田中志子氏

◎群馬県町村議会広 報研修会

群馬県市町村会館に於いて11月6日県町村議会広報研修が開催され、城市創氏による議会だよりの発行意義等の研修をしました。

◎日光市議会交流会

■平成21年11月27日

第2回の交流会が日光市役所にて開催されました。

両議会共に、課題を持ちよつての意見交換を行いました。議題として「観光振興の連携について」「国道120号通年通行問題、奥鬼怒林道の通行緩和策や、相互の観光資源を活用した連携等の充実を図る事や、有害鳥獣対策を含む森林保全対策、防災協力等、両市村議員忌憚のない意見交換ができました。また、交流会事業は年2回開催し次回は、片品村で行う事を確認して閉会しました。



日光市議会との交流会

豆知識

片品村にある水力発電所

発電所名	発電所出力 (KW)	最大有効落差 (m)	使用開始年月
鎌田	11,600	111	1954年3月
一ノ瀬	10,700	281	1937年12月
白根	10,300	204	1954年3月
戸倉	8,800	164	1962年10月
幡谷	8,500	95	1927年11月
丸沼	4,300	283	1939年2月
栓ノ滝	2,800	73	1941年12月

※ 上記の発電所の年間可能発電電力量（過去30年の平均）は合計237,788Mwhで、これは一般家庭約6万9千軒分の年間使用電力量に相当。（東京電力資料より）

※ 電源立地地域対策交付金の『水力発電施設周辺地域交付金』は県補助金として、H18年・H19年・H20年とも1745万円交付されています。

（この交付金は交付期間30年で、H22年末で終了となる。）



幡谷発電所

問 行財政改革を更に進めるために常勤特別職の報酬削減の意志はないのか。

答 条例で金額を23・3%削減しています。しかも群馬県36市町村の中で下から3番目です。議員の報酬は群馬県36市町村の中で8番目であるということを理解していただきました。

問 村の貯金である基金総額は4年前と変わらないので貯金が増えたわけではありません。4億円以上あった土地開発基金を廃止して全額、財政調整基金に繰り入れたために増えたものと考えますがいかがですか。

答 4年前には、財政調整基金から観光事業特別会計に6億5千万円を貸し出してあったので、財政調整基金は差し引き2億2千万円しか正式にはなかつた。

しかし、毎年度1億6千万円、1億5千万円、1億7千万円積んできたので、今現在財政調整基金は8億7千万円を超えるまでになった。

問 星野賢二前村長が水資源開発機構の戸倉ダム建設事務所を土地付きで村がもらい受け、村の庁舎として有効利用する約束をしていたのに、村長就任直後に議会にも相談しないで独断で断った事実は公正・ガラス張りの村政とは言えないのではないか。

9月定例議会における星野育雄議員の一般質問に対する村長答弁の一部修正

水資源機構の事務所については、議決でもらうとももらわないとも決めてなかったはずです。

就任当初水資源機構の理事長に会って、使用予定のない施設を預かるには費用がかかるので維持費を出してほしいと要望したが出せないということであった。

それではその建物は要りませんから現金を置いていってくださいということは何百万円余計に置いていたはずです。

そしてその時に国土交通省に行き、戸倉ダム中止は片品村にとって大変な痛手であることを伝え、一つ橋を造ってほしいと要望し、そして今御座入に橋が架かりだしています。それから水資源機構の職員を3年間、すべて水資源機構もちで片品村に手伝わっていたきました。

□ 第9回臨時議会開催

期日 平成21年11月26日

■ 片品村職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告に基づく給与改定を行うため

全員賛成で可決

人事院は5月に引き続き8月にも給与の改定の勧告を行った。

その主な内容は

	月例給	期末・勤勉手当
一般職	俸給月額を平均0.2%引き下げる	0.35月分の引き下げ(4.5月→4.15月) 夏季手当で0.2月分減額済、 冬季手当で0.15月分減額予定
常勤特別職		0.3月分の引き下げ(4.45月→4.15月) 夏季手当で0.175月分減額済、 冬季手当で0.125月分減額予定
村議会議員		0.3月分の引き下げ(4.15月→4.15月) 夏季手当で0.175月分減額済、 冬季手当で0.125月分減額予定

平成21年度片品村一般会計補正予算(第4号)が全員賛成で可決。新型インフルエンザワクチン接種助成費として、県より臨時補助金156万円、国から地方交付税239万7千円の歳入があり、衛生費予防接種事業として395万7千円の歳出増となり、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億3,548万円と定める。

参 考 資 料

片品村基金等比較

(単位：千円)

種 類	平成17年11月末	平成20年度
財政調整基金	420,236	801,952
奨学基金	2,846	5,213
地域づくり特別事業基金	360	52,360
減債基金	782	782
福祉基金	100,000	100,000
ふるさと農村活性化基金	10,178	10,178
尾瀬の郷づくり基金		3,840
土地開発基金	463,050	
★一般会計基金合計	997,452	974,325
国民健康保険	72,670	5,780
介護保険	13,867	30,179
簡易水道事業	8,500	20,800
観光施設事業(留保資金)	71,327	107,109
★特別会計合計	166,364	163,868
●総合計	1,163,816	1,163,816
基金総額の差額		▲25,623

※土地開発基金は平成19年度に財政調整基金へ繰り入れた。

資料：平成17年11月末・片品村基金等現在高調書

平成20年度片品村歳入・歳出決算書

群馬県内24町村長と議員報酬の低い順位

	町 村 長	議 員
①	みなかみ町	川場村
②	邑楽町	六合村
③	高山村	上野村
④	嬭恋村	高山村
⑤	川場村	神流町
⑥	上野村	南牧村
⑦	千代田町	長野原町
⑧	板倉町	昭和村
⑨	南牧村	嬭恋村
⑩	片品村	片品村

資料：平成21年7月1日現在

群馬県町村議長会発行

第55回町村議会実態調査集計表

議会活動日誌

11月		30	幡谷橋開通式	25	介護慰労金配付
7	農協祭	"	広域圏定例議会	平成22年1月	
8	道路愛護	12月		5	県議会新春交流会
"	尾瀬文学賞表彰式	4	片品村降雪、安全祈願祭	"	上毛新聞社新年交歓会
10	国道120号椎坂2号トンネル工事着工式	"	12月定例会	6	消防出初式
11	全国町村議長大会	"	補正予算説明	"	新年賀詞交歓会
13	議会だより編集委員会	8	総務文教常任委員会	7	利根沼田農協新年祝賀会
16	定例議長会	"	観光産業常任委員会	8	市町村トップセミナー
"	利根沼田学校組合議会議員協議会	10	12月定例会閉会	10	成人式
"	広域圏議員協議会	11	高校あり方委員会	12	新年懇話会
24	クリーンセンター全員協議会	12	スノーパーク尾瀬戸倉安全祈願祭	14	広域圏議員協議会
"	クリーンセンター定例会	"	尾瀬岩鞍安全祈願祭	"	定例議長会
26	議会運営委員会	16	農業委員OB会懇親会	20	婦人会新年会
"	臨時会	18	オグナ・武尊牧場安全祈願祭	21	尾瀬クリーンセンター全員協議会
"	全員協議会	21	施設慰問	"	親友会新年会
27	日光市議会との交流会	"	盟友会忘年会	22	FMOZE賀詞交換会
				27	冬季交歓会受入式

お知らせ

次回定例会
3月4日(木)～12日(金)の予定です。
一般質問は、4日の予定です。

議会だより・会議録がホームページで見られます。
URL: <http://www.vil.katashina.gunma.jp/>

みなさんの傍聴を
お待ちしております。

問い合わせ
TEL 58-2119

編集後記

12月議会定例会報告を中心とする「議会だより」を作成・発行するのに、編集委員会を四回開きました。「早期発行」が合言葉ですが、やっぱり、2ヶ月間ほど掛かりました。議会だよりは、議会活動の凝縮ですが、限られた紙面のため、すべての掲載となりません。そのため編集力が必要です。片品村役場の公式ホームページには、定例会と臨時会の会議録があるので、詳細についてはご覧下さい。

編集委員会は、毎年、議員の半数(奇数番号か偶数番号の議員総数)で構成されています。したがって、1期4年の任期中に、全員2回(2年)の編集委員会を経験します。そして来年の4月で、任期が終了です。村民に愛される議会だよりをめざしておりますので、引き続きご愛顧のほど宜しくお願いします。

【戸丸 廣安記】

発行

片品村議会

発行責任者

入澤 登喜夫

編集委員

◎◎ 戸丸 廣安
○ 萩原 日郎
星野 育三
星野 佩三
飯塚 美明
等原 耕作

印刷

等原印刷有限公司